



号外

2022年4月発行

多良間村



# 子ども議会だより



## 令和4年 多良間村子ども議会開催

### もくじ

子ども議会の目的.....	2P	子ども議会を終えて.....	12P
子ども議会本番.....	3P	議員からの感想.....	13P
一般質問.....	4P~10P	中学1年生の感想.....	14P
議長あいさつ・教育長講評.....	11P	編集を終えて.....	16P

村公式HPでも  
読めます





## 子ども議会の目的

多良間中学校では、「将来、多良間村に貢献できる人材を育成すること」を目的に、**キャリア教育**を推進しています。その一環で、中学一年生は「**地域に対する愛着と誇り**」を高めるために、多良間村課題発見・解決プロジェクトとして、多良間村の更なる活性化に向けて考える取り組みを行っています。そこで、地域の課題や産業等の活性化について、生徒自ら考えた事を発信することや、地方自治への興味関心を高める機会として「多良間村子ども議会」の開催を要望いたします。

## 子ども議会とは？

未来を担う子ども達が、議員として子ども議会を経験することにより、村議会の仕組みや、流れを学びふるさと多良間の行政に興味、関心を持つことを目的に行う「議会体験学習」です。

## キャリア教育

＝

# 「将来、社会で生きていくための力を育てる」

### 子ども達のメリット

- 学びと社会のつながりが分かる
- 今と将来の私の繋がりが見える
- 多くの出会いによって私の目標生きがいが見えてくる
- 働くイメージや魅力が持てる
- 生きる力・人間力の向上

など

### 地域のメリット

- 地域の次世代育成
- 地域の歴史・文化・産業等の伝承
- 地域の活性化
- 郷土愛のある次世代育成
- 地域で生きる選択肢を伝える

など



## 令和4年 多良間村子ども議会 議事日程

令和4年1月20日（木曜日）午後2時開議

### — 開会・開議の宣言 —

- 日程第1 村長のあいさつ
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 一般質問
- 日程第5 村議会議長のあいさつ
- 日程第6 教育長講評

### — 閉議・閉会の宣言 —

## 私達が進行します



副議長

清村 仁愛さん



議長

諸見里 美柚さん



村長

い ら み な み つ お  
伊良皆 光夫

本日の子ども議会を企画いたしました先生方や生徒の皆さん、大変ありがとうございました。この子ども議会は、皆さんが日頃感じていることをこの議場で私たちの村の将来、あるいは現状について提案していくということで、大変貴重な子ども議会かと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。今現在は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延によりまして、私たちの日常の生活、いろいろな行事、制約を受けての大変な状況になっております。皆さんの学校生活も思うようにいかない、やりたいことも抑えられる、あるいは全ての皆さんとの交流も少ない。そういうことで、大変厳しい状況になっていくかと思えます。この子ども議会、今日、皆さんが提案して、村に将来の施策をやっていく、そういうことも含めながら、皆さんの発表力、観察力、そういうものが試されるかと思えます。環境的にも日頃の学校と変わっておりまして、緊張感もあるかと思えますけれども、適度な緊張を持ちながら、正々堂々と質問をしていただきたいと思います。役場の課長も皆さんの通告書に基づいて勉強して臨んでおりますので、しっかりと答弁をしながら、また今後の村の施策に生かしていきたいと思っております。皆さんが将来、この議会を通して必ず役立つものと思っております。今日の体験を生かして、どうぞ将来、多良間村長、多良間の議員が誕生することを願っております。本日はよろしくお願いいたします。



きよむら にちか  
清村 仁愛  
議員

### 軽石を撤去する活動は行われているのか

— 範囲を決めて、一斉作業の実施を考えている

**清村議員** 多良間島の海は、国内でも自慢できるほどとてもきれいで、観光客もその海を目当てに訪れる人もいると思います。ところが今、軽石の影響で景観が損なわれています。また、船の出入りも難しくなっています。なので、現在、軽石を撤去する活動は行われているか質問します。

**土木建設課長補佐** 港湾に関しては、普天間港、前泊港にフェリーたらま川の入港がありますので、月曜日から土曜日まで軽石撤去作業を行っています。軽石の撤去作業を村民のみならず行うことはできないでしょうかに

関しては、港湾内の軽石は沖から入ってくるのではなく、港湾近辺の砂浜から潮の流れや干

### 提案

**清村議員** もし、ボランティアとして集まらなかつたとしたらどうしますか。例えば1つの仕事として取り入れるのはどうでしょう。作業を手伝ってもらった方々には報酬として、多良間村のお店で使える商品券などを配付するのはどうですか。

**土木建設課長補佐** とてもいい案だと思います。検討していきたいです。

潮、満潮及び風の向きなどによって、軽石が多くなる日や少ない日などがあります。そのため、港湾近辺の砂浜の軽石撤去作業を範囲を指定して、例えば普天間港はタニガー浜からミツジ浜までとか、前泊港はクテイ浜からウカバ浜でとか、範囲を決めて一斉作業をする必要があると考えています。港湾以外でも多良間島全域の白い砂浜に軽石が打ち上げられて、砂浜が灰色になっており、議員が話しているように、軽石の影響で景観が損なわれています。そのため、これも範囲を決めて一斉作業を実施できればと考えています。時期的には、製糖期間終了後になると考えています。

### インスタ映えするスポットの建設は進んでいるのか

— 中学生、村民の皆さんと検討しながらつくっていききたい



おやざとりょうま  
親里 龍馬  
議員

**親里議員** 昨年、垣花優里議員が提案していましたが、インスタ映えするスポットの建設は進んでいますか。

**観光振興課長補佐** 昨年、垣花優里議員から提案がありました。インスタ映えスポットの建設の件なのですが、現在は進んでおりません。箱物、建物を造るには多くの資金が必要と考えられております。

多良間村では沖縄で唯一、「日本でも最も美しい村」連合に加盟していますので、島全体をインスタスポットとして親里議員、中学生の皆さん、村民の皆さんと自然を生かした観光、写真のための撮影スポットをつくることを検討してみたいかが

でしょうか。一緒に検討しながら、観光客が多良間島を訪れ、インスタ映えスポットが多くよかつたねとの声を聞きたいと思います。皆さんと一緒に頑張りましょう。

### 議会豆知識

## 「日本で最も美しい村」連合会とは？

生活の営みにより形成されてきた景観・環境や地域の伝統文化を守り、これらを活用することで観光的付加価値を高め、地域の資源の保護と地域経済の発展に寄与することを目的としている。



ちねん なつみ  
知念 夏海  
議員

ファームステイの受け入れはどこまで進んでいるのか

各課と連携をとり、体制づくりをしなければならぬ

知念議員 多良間島では過疎化が進んでいると聞いています。

そこで、昨年、清村一生議員が提案したファームステイの受け入れをして多良間島のよさをPRし、住みたいと思ってくれる人が増えたらいいのではないのでしょうか。ファームステイでは児童生徒を離島留学として受け入れ、農業体験などを企画してはいかがでしょうか。

教育課長 現在、ファームステイ、農業体験の企画で児童生徒の島留学の受け入れについて、どこまで進んでいますかというご意見ですが、れども、まだちょっと進んではない状況ではあります。

現在、似たようなことで、留学ではないんですが、多良間村で

は離島体験交流事業で、2年ほど前までは毎年のように、沖縄本島の小学生が多良間村へ交流体験を民泊で受け入れているという事業もありました。現在、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、実施ができていない状況であります。

コロナが終息すると、また再開が可能になると期待をしています。ファームステイは農泊・農業体験となっておりまして、旅行、観光地域の実施によりまして、地域の活性化につながると思っております。

また、現在、多良間のPRについては、地域おこし協力隊の皆さんや観光協会、観光振興課などで事業の展開をして、多良間のPRをしております。島留学については、前にもお話をさせていただきました制度づくりが、今一番重要という課題になっております。今後はこの課題を各課と連携をしながら、体制づくりをしなければならぬ検討課題だと思っておりますので、継続して検討をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



さわだ ひまり  
佐和田 ひまり  
議員

黒糖の在庫増加の対策は

交付金等を活用して、消費拡大に向けて取り組んでいる状況

佐和田議員 以前の議会傍聴で、黒糖の在庫が年々増えていると言っていました。あれから黒糖はどのくらい減りましたか。また、どのような対策を行っていますか。

産業経済課長 減っているかどうかという事ですけれども、昨日、県内の黒糖の生産量が年間6,000トンから1万トンということで、なかなか不安定な黒糖生産でございます。これは原料であるサトウキビの生産量が気象災害に影響されていることが要因となっております。黒糖の市場は年間7,500トンの需要量が見込まれておりまして、平成28年、29年産のサトウキビ生産量が2万5,000トン以上、黒糖生産量が9,000トンを超える大幅な豊作となっております。その影響も

あります、そしてコロナの需給の

提案

佐和田議員 黒糖が余っているようですが、それを使った商品を開発することを提案します。岩手県宮古市では、実際に多良間島の黒糖を使った煎餅を販売しています。黒糖が余っているのを機会に、ほかの地域とのコラボ商品の開発をしてはいかがでしょうか。

産業経済課長 ご提案であります他の地域とのコラボ商品の開発ということですが、村内の黒糖加工品はジェラートやあめ、黒糖蜜、クッキー等が製造されております。また、県内の酒造所でも、各島の黒糖を使ったラム酒の製造にも取り組んでいます。今後、多良間島産のニンニク、唐辛子とコラボして、商品の開発が期待されております。



たむら はなえ  
田村 花恵  
議員

### 村民の避難所として 体育館を建て替えては

村全体で取り組むべきことなので検討をさせていただきます

**田村議員** 最近、日本国内で地震が増えています。そこで、役場から配付された多良間村防災マップを確認したところ、最も安全なところは多良間中学校だと考えました。そこで、村民の避難所として使えるような、広くて高い体育館に建て替えることを提案します。

**総務財政課長** 防災マップでは、多良間中学は沖縄県の想定では浸水想定域から外れており、指定避難場所として指定されております。津波は想定を超えてきますので、避難場所としては標高にある八重山遠見台、父母の森、上水道処理施設、コミュニティ施設の屋上に避難したほうがより安全だと思います。体育館は災害により自宅へ戻れなくなった人たちが一時的に

滞在する施設、そして被災した人が次の住まいを確保するまでの間、生活する場となります。

**田村議員** 中学校には全天候型グラウンドや屋内プールもあるため、非常時以外は体育館を避難所として、合宿所としても使えるようにすることで、島外からの来島者が増え、多良間村の活性化にもつながると思いますので、その部分も含めて検討していただきたいです。

**教育課長** 15日のトンガ諸島の大规模火山噴火による津波警報、津波注意報は、多良間村、また多くの家庭においても、避難場所や避難施設についての再確認をする機会になったと思います。そういう面からしても、避難場所、避難施設の安全性周知はとても重要になると思っております。多良間中学校を避難施設として使えるようにすることは、貴重な提案だと思っております。中学校体育館の建設規模、例えばクラス数によって建設規模等が決まっているんですね。この件については、村全体で取り組むべきこととなりますので、多良間中学校体育館の建設については、検討をさせていただきますかと思っております。



かめやま おと は  
亀山 乙葉  
議員

### 空き家を活用した 介護施設を

事業等を活用して検討していきたい

**亀山議員** 今ある空き家を介護施設として再利用することを提案します。企業見学をした際、空き家を利用して介護施設を経営していた方がいました。空き家を利用することで、おじい、おばあが自分の家にいるような安心感を持てたり、あえて段差を残すことでリハビリになるという理由からです。多良間には空き家がたくさんあるため、介護施設として再利用することで高齢者が安心して暮らせる島になると思いますし、島に仕事が増えるため、島に帰ってくる人も多くなると思います。

**住民福祉課長** 介護サービス事業所は、実際に宮古島市、石垣市といったほかの市町村で運営されておりまして、また、自分の家にいるような安心感を提供することは、特に認知症

の症状がある高齢者にとってはとても有効なりハビリと言われています。近年においては、主に通所型の介護サービスで利用されているようです。まず、空き家を介護サービス事業で利用するためには、耐震強度、防火設備、また、利用する利用者の一人当たりに対する部屋、また廊下の広さ、お風呂やトイレの設備、また食事の準備等ができる衛生管理といった調理設備の基準を満たす必要があります。多良間村にある空き家がこういった耐震強度等の基準を満たせるか、または必要な設備を入れた後、利用する一人当たりの確保すべき広さが十分に確保できるかといったクリアする課題がいろいろあります。ご提案の内容は、実際に私が島全体を見た限りは、実際に私が島全体をみた限りは、介護施設またはサービスを提供できるような施設として再利用できる空き家が見受けられない。しかし、今後、介護サービス事業等に利用できるよう空き家が見つかった場合には、多良間村で介護事業を行っています社協さんと協議して、今、行っている萌木のデイサービスの一部を利用する方法や、または介護職員を専任で一人配置可能であれば、元気な高齢者が集う事業などに活用できないかなと思っております。



宮國 安璃  
みやくに あんり  
議員

観光拠点施設の2階の経営者を探すためにどんな取組をしているのか

— SNS等を活用し、情報発信を行っていききたい

宮國議員 島内企業見学のときに観光拠点施設を見学したときに、2階のフロアが何も使われていませんでした。経営者が見つければ、何かのお店ができると聞きました。その経営者を探すために、具体的な取組をしていますか。また、経営者が決まっていなければ、ハローワークやSNSを活用して、募集してみたいかがですか。

観光振興課長補佐 令和2年8月に

多良間村と地域振興拠点施設の指定管理を結んでおります。2階レストランは完成当初から指定管理を行う方向で準備を進めているところですが、対応が遅れている状態です。指定管理に興味を示している企業があると聞いていますが、島外から来て

も住宅の確保とかいろんな問題がありまして、なかなか難しくなっております。今後はSNSなどを活用し、指定管理に向けた情報発信を行いながら、進めていきたいと思えます。

### 議会豆知識

## 指定管理者制度とは？

公の施設の管理運営を行う民間事業者等を「指定管理」として指定することにより、民間のノウハウを活用しつつ、サービスの向上と経費節減等を図ることを目的とした制度。



糸洲 朝輝  
いと すとも  
議員

室内遊戯施設を造ることを提案

— 情報を共有しながら検討していききたい

糸洲議員 最近、子どもの遊び場が少なくなってきたっており、親の負担も増えていると思います。そのため、子どもの遊び場、親が安心して子どもを預けられる場があるといいと思います。そこで、ふれあいフクギ館を利用した室内遊戯施設を造ることを提案します。

教育課長 現在、コミュニティ施設、愛称ふれあいフクギ館の研修室は、研修会、あとオンライン研修、会議、たらま塾、健康体操教室、手織り講習会など各種団体に利用されておりまして、毎日が満室状況ではありません。遊戯施設となりますと、部屋の確保、あと改修のための新規事業の計画を立ち上げるとか、予算の確保、選定、人員配置など検討する必要があります。これも財政課とか、あと情報を



## コミュニティ施設 ふれあいフクギ館

・たらま塾、わんぱく塾、婦人学級、オンライン会議などで使用しています。

共有しながら相談する内容となっていくと思えます。ご提案のほうりがとうございます。今後、検討させていただきます。



ほかまみ 外間 眞 議員

特産品開発センターを  
利用して島内で売る商品  
開発を

計画、準備、開発の協力を  
していきたい

**外間議員** 多良間島にはお店の数が少ないと思います。そのため、商品の数も限られてきます。そこで、特産品開発センターの使用を考え、婦人会や老人会の協力の下、食べ物や日用品をつくり、島の人に販売してはどうか提案します。

**産業経済課長** 現在、特産品開発センターではたらま花茶、たらま七味、乾燥唐辛子、野菜乾燥等が生産加工をしております。そのほかには婦人会等で、敬老会や各イベントに活用されております。中でも離島フェア2021年においては、たらま花茶、たらま七味が優良特産品として表彰されておりま。ご提案の食べ物等の加工、販売につきましては、特産品開発センターの利用目的でありま

す特産品の研究、開発、生産加工の目的に沿った利用になるか、検討していく必要があります。食品を加工、販売するためには、保健所の営業許可、衛生管理、食品表示等の申請から確認許可が必要となっておりま。すので、十分な計画、準備、開発、そして販売等についてご指導、そして助言等を協力できればと思います。

## 多良間村の特産品



たらま七味



ぱなぱんびん



たらま花茶



みやぐに ゆうり 宮國 有 議員

リサイクルセンターを  
造ることは可能なのか

有効利用できる場所を検討  
していきたい

**宮國議員** 多良間島では必要なものがすぐに手に入りにくいのです。そのため、箱や袋などもほとんどの家庭が保管している状態です。そのようなものを保管し、必要なときに誰でも持ち出せる倉庫のようなリサイクルセンターを造ることはできませんか。他自治体ではそのような倉庫を活用し、リサイクルを行っているようです。

**住民福祉課長** リユース、再利用についてかと思いますが、物を大事にして使っている人は本当たくさんいらっしやるかと思えます。中には議員がおっしゃっているとおり、使わないけれども大事に保管して、家の倉庫にある物もいろいろあるかと思えます。そういった使えるけれども使わない物を誰かに使ってほしいという、そ

う考えは、ごみを減らす、また資源を繰り返し使うということでは、一番大切な考えであります。多良間村でもコミュニケーションまつりで小学生が不用品をバザーに出したり、また、一般の方が出品したものを必要な方あげたりと、活動は行っています。また、使えるけれども使わない物、そういった物をお互い持ち寄って、交換とかそういったことをやっていたと聞いております。施設を新たに整備するのではなく、現在、クリーンセンターのほうでは家電製品とかペットボトル、リサイクルできる製品、そういったものを保管している場所がありますので、そういった場所も有効利用できるかどうか、また今後検討していかないといけないと考えております。まずは使えるけれども使わない物、そういった物を持ち寄った昔行っていたという交換会の場とか、あとホームページ、また広報たらまを活用して、譲ってほしい物、譲りたい物とか、そういうコーナーをつくっていただければなと考えております。最後に、いつか必要になるであろうではなく、今、必要かということを考えて、また大事に使えるか、そういったことを考えて、我々大人も子どもも買物、または物を譲ってもらったときは気をつけていきたいと思えますので、またよろしく願います。





たかえす ゆいら  
**高江洲 結愛**  
議員

**提案**

が、この答弁以降、10基の街灯の新設がありました。

**夜空に影響が少ない傘つきの街灯の設置を**

地域の皆さんの意見を聞きながら検討していきたい

高江洲議員 以前、小祿保護員が街灯を増やしてほしいという提案をしていましたが、街灯が増えたかまた、増えたのであればどのぐらい増えたのか教えてください。

教育課長 以前は塩川、拝所周辺の塾の帰り道が暗いということで、街灯の設置の要望がありました。前は、修繕と街灯を覆っている箇所の木の枝落ちを行ってはいます。昨日、拝所周辺を確認しましたところ、木に街灯が覆われている箇所が多くありました。教育委員会としても、今後も場所を確認しまして、関係課と調整して児童生徒の安心・安全の明かりの点灯を努めていきたいと思っております。

高江洲議員 たくさん設置していただいたと思いますが、塾の帰りなど、北側に帰るときの道はあまり街灯がなく危険だと思ったので、今後も設置をしていただきたいです。また、今後設置するならば、星がきれいな多良間を守るために、夜空に影響の少ない傘つきの街灯の設置を提案します。

総務財政課長 多良間のきれいな星を守るために、傘つきの街灯はできないかという質問であります。今、設置してある街灯は適正な明るさを保ち、夜間における交通事故を防止するという道路管理のための機能も担っております。また、夜間における地域の安心・安全を守るという街灯の果たす役割が多くあります。星がきれいな多良間島を守るためにも、傘つきの街灯設置については、地域の住民の皆さんの意見を聞きながら、検討していきたいと考えております。



の はら しずく  
**野原 雫**  
議員

**観光拠点施設は、避難所としてどのように機能するのか**

収容避難所としての役割

野原議員 観光拠点施設が災害時避難所になっていますが、防災マップでは津波が浸水するであろう場所になっています。観光拠点施設は海側にあるので、避難したときに命が助かるかどうか不安なところです。海に近い観光拠点施設が避難所としてどのように機能するのでしょうか。



多良間村防災マップ

観光振興課長補佐 野原議員ご指摘のように、多良間村拠点施設は皆さんがご存じなように、津波緊急避難を除く予定収容場所と位置づけられております。令和3年3月作成の多良間村地域防災計画では、津波推定予想図（平成27年3月想定）では、前泊港、地上最大水位13・9メートル、最大遡上高22・3メートル、普天間港は地上最大水位高が12・5メートル、最大遡上高が17・5メートルとなっていますので、津波が起きた場合には八重山遠見台、多良間浄水場、父母の森へ身を守るためにも避難したほうが安心だと思います。先ほども言いましたが、地域振興拠点施設は予定収容避難場所としての役割だと思います。



やまがわ しゅう た  
**山川 将太**  
議員

**SNSを利用して島の様子、観光案内を配信することを提案**

— 多くの人に多良間島の良さを広げていきたい

**山川議員** 多良間島の観光PRのために、SNSを利用して島の様子や観光案内などを配信することを提案します。観光案内だけではなく、多良間村特有の豆腐づくり、機織り体験などを企画し、SNSを通じて多くの人に伝えることで、島のよさを広げていけると考えます。

**観光振興課長補佐** 地域振興拠点施設の北側に、皆さんがご存じなように体験施設があります。数年前までは豆腐づくり、黒糖づくり、染め物と紙体験など、小中学生、観光客を対象に行っておりました。現在は、産業経済課が芋、タマネギ、ニンニクなどの施設として利用しております。今後は山川議員がご提案しているように、体験施設を利用するよう

ふしやぬふ観光協会と各ものづくり担当者の募集や確保に努めております。それを体験風景などをSNS、フェイスブックなどを活用して、多くのの人々に多良間島のよさを広げていきたいと思えます。



黒糖作り体験



もろ みぎと みゆ  
**諸見里 美柚**  
議員

**空き家をリフォームして活用できないのか**

— 空き家活用の取組を続けていきたい

**諸見里議員** 現在、多良間村は人口が減少してきています。その原因の一つとして、Uターン者の受入れ住居がないことが挙げられます。そこで、一人暮らし用の団地を建設したり、空き家をリフォームして活用することを提案します。

**副村長** 空き家の活用についてですが、令和2年度に定住促進空き家活用住宅として1軒の整備を行っておりまして、Uターンしてきた若い方の住宅として現在活用されております。なお、村の調査では、今、村内に20軒ほどの空き家があるというふうな把握をしております。ただ、大変老朽化をしております。活用が難しい空き家、あるいはこれまで住んでいた方と実際の所有者が違う、いわゆる地権者の確定が

**提案**

できない、あるいは貸したくないというふうな様々な原因がありまして、今後の予定が立っていないという状況になっております。今後も改修のためのいるんな条件を整備しながら、空き家活用の取組を続けていきたいと。それによって、Uターン者、Uターン者の定住環境の整備を図っていくと、こういうふうな考えております。

**諸見里議員** 単身者はシェアハウスなどで一緒に住んでも楽しめると思いますが、いかがでしょうか。

**副村長** 令和2年度に1軒の空き家活用住宅の改修を行った際に、空き家利用の方向としていろいろな検討を行っております。その中に議員から提案がありますように、シェアハウスなど複数人での共同生活型住居として活用するとの方向づけもされております。空き家活用改修の際には、ご提案を反映できますように検討をしていきたいと思えます。





議長  
福嶺 常夫

この子ども議会において、皆さんは日頃から感じている身近な問題、将来の課題など、子ども議会での質問は地域を思う気持ちがよく伝わりました。また、内容においても、今の問題の軽石大量漂流、漂着の対策、黒糖の販路、防災、特産品開発、環境整備など、また観光による村の活性化などの質問内容は、自分の住んでいる多良間村がこうなったらとてもよくなくなるんじゃないかと島の思いを、気持ちからの発想と内容であったと思います。また、質問事項は明瞭で具体的で、大変よかったです。また、皆さんのこの意見は、今後、村政運営に大きな反映をされるものと思っております。皆さん方のこの意見はこれから各課長の皆さんがよく調べ上げて、多良間をどういう強い村にするかをこれから検討されるものと思っております。それでは、皆さんがこの子ども議会を通して学んだこと、身につけたこと、その思いをこれから学校生活や地域において、自らの夢実現に生かしていくことを願っております。本日の皆さんの生き生きとした活力に満ちた発表は、大変多良間の子どもたちとして誇りに思っております。ありがとうございます。さらなる皆さん方の活躍、成長を祈ります。頑張ってください。



教育長  
池城 三千雄

今議会もたくさんさんの提案がありました。観光関連、商品開発、防災、介護、その他生活関係、質問、提案、ありがとうございます。14人の議員の皆さん一人一人の講評はできません。一般質問の内容を充実させる事前調査なぜその質問をするのか、質問の裏づけ調査ということをお話して、講評に代えたいと思います。先ほど副村長が、諸見里議員の答弁の中で数字が挙がってきました。例えば空き家の活用について2人の議員が質問、提案をしておりますが、何を調査するのか、村内の空き家が何軒あるか、人が入れないほど危険な状態の空き家もあります。コンクリートの頑丈の空き家もあります。先ほど副村長はそれを調べて皆さんにお知らせしている。街灯が少ない、暗いという質問は何を調べるか。明かりがつかない故障した街灯がないか、それを調べる。人口減少、確かに減少しております。先ほど国勢調査の数字で副村長が説明をしております。過疎化が進んでいると聞いている。聞いているではなく、どれだけ減少しているか自分で調べる。5年単位は、国勢

調査の紹介がありました。10年単位で何人減少したのか、減少率を調べる。その調べた数字を質問の裏づけとして、質問要旨を構成していく。事前調査した内容の入った質問は、ああよく調べているね、ああよく勉強しているね、いい印象を受けます。プロジェクトで宮古島市の企業訪問をして、事前調査をしております。亀山議員の提案がありました。見学した企業の取組を参考事例として紹介しながら、質問内容を組み立てていくのもいい質問の仕方だと思います。ファームステイの提案がありました。島外から児童生徒を島留学させ、学生として受け入れ、農業体験をする。いい企画、提案だったと思います。姉妹市、宮古市との交流の方法の一つとしてできないかなと、今、頭の中で思い描いております。そこで、私からお願いがあります。今回の提案、ファームステイを発展的に展開する活動として、多良間中学校生徒30名の調査をしていただきたいと思います。提案している島留学生を受け入れて、一緒に農業体験ができる生徒、その人数、ぜひ調べてほしいと思います。子ども議会でも皆さんのアイデアを提案いただきました。大変参考になりました。私たちの多良間村がもっともつと住みたい村、住み続けたい村になるためにどうしたらいいか、皆さんのアイデアと活動に大きな期待を込めて、講評いたします。

# 子ども議会を終えて



議長  
諸見里 美柚

私は、子ども議会で議長を務めて、とてもよい経験が出来たと思います。議長は、議会を進行する大事な役割だったので、プレッシャーがあったけどゆっくりとハキハキ話せたので良かったです。質問では具体的な情報などを入れなくて、説得力がなかったのもっときちんと調べてから質問することが反省としてあります。なのでこの経験を将来に生かして、何か質問をするときは、いろいろな情報を集めて説得力のある質問がしたいです。この子ども議会を通して、もう一回多良間のことを見つめ直すことができ、自分自身、またクラスの間も成長できたと思います。貴重な体験をありがとうございます。



副議長  
清村 仁愛

私は子ども議会を終えて思ったことは2つあります。1つ目は、副議長を務めて練習する時間があまりない中だったけど、すらすらとゆくり読めたことです。練習はリハーサルと個人で1回ずつ出来ました。みんなに聞き取りやすい早さで読めたと思います。2つ目は、議員としてトップバッターだったけど、自分の意見を落ち着いて発表できたことです。また、自分の予想していた答弁と違ったとき、自分で整理して発言できました。最後に、子ども議会の一番と副議長を務めて、少しだけ話すのが得意になり、好きになれたと思います。とても良い体験でした。



担任教師  
武島 功

1学年担任として、子どもたちと1年間プロジェクト「課題発見・解決型学習」に取り組んできました。その中で多良間島での企業見学や、島外に出てどのような産業があるかを比較検討し、改めて多良間島の魅力や課題を再発見することができたと思います。その気づきを地域の発展につなげるため、子ども議会を開催し、たくさんの方の提案をすることが出来ました。今回の子ども議会が子どもたちの成長、多良間村の発展に寄与していくことを願っています。



担任教師  
高江洲 礼芽

今回で「プロジェクト」に関わるのは2年目となります。昨年度は島の魅力を再確認し、さらに発展させるにはということ取り組みました。今年度は「今ある資源を有効活用」を自身のテーマとし、子ども達と関わることで昨年以上に多良間村の魅力や課題に気づくことができました。子ども達もそれぞれの視点を持ち、防災や空き家・リサイクルなど前回とは違った課題を発見しており島の現状と対策を考えることで今後自分たちに出来ることなどを考えるきっかけになったと思います。また、大人の前で立つということが不安や緊張もあるなか堂々と発表でき、これからの自信にもつながったと思います。この子ども議会を基に多良間村のさらなる発展を期待します。貴重な機会をありがとうございました。



担任教師  
中村 寛

今回、私自身初めての体験が多く、子どもたちと一緒に楽しみながら体験、学習させていいただきました。「プロジェクト」のねらいである、村の魅力を再確認すること、村の現状や課題に気づくこと、村の魅力を発信し、よりよくする為に解決策を提案することができたと思います。多くの時間をかけて村の為に真剣に考えた質問に、大人が真剣に答える場、とても素晴らしかったです。子ども達の経験はもちろんです、私たち大人も考える場面があったと思います。これからも続けていきたい取り組みでした。関わってくれた方々に感謝しています。ありがとうございました。





担任教師  
金當 洋美

子ども議会本番の朝、子どもたちは緊張しながらも、いつも通りの弾ける笑顔で議場に向けて学校を出発しました。準備もしました。練習もしました。議会で堂々と提案する姿に、頼もしさを感じました。事務局長に「練習してきたね！」と褒めていただき、誇らしさも感じました。「プロジェクター」を通じて、子どもたちが多良間の魅力に気づき、課題を知り、提案していくというこの活動は愛郷心にも繋がると思いますし、いか多良間を牽引していく存在になるかもしれません。とても貴重で素晴らしい体験をさせていただけたと感謝しております。関わってくださったすべての皆様、ありがとうございます。最後に。自分自身で課題をみつけ、多良間について真剣に考え学習に取り組んだ子どもたちに拍手！パチパチパチ……！



教頭  
高里 慎一郎

村民生活の活性化に向けて課題や疑問を生徒自身が見だし、子ども議会で発信する活動は本当に有意義な活動だと思えます。中学生の皆さんは、多良間島の事を真剣に考えての質問・提案がしっかりできていたと思います。議会で質問・答弁することはとても緊張したでしょうが、企業見学を通して、一人一人が多良間村の活性化についてしっかり考えて質問を準備し、議会で提案できたことはとてもよかったです。「15の島立ち」の前に、子ども議会に向けての学習や体験は、生徒の皆さんの今後の成長によい影響を与えるでしょう。期待しています。本校では、中学生が進級する上で、更にキャリア教育の内容を深めていきます。子ども議会は産官学がひとつになることで初めて実現可能な大きな教育活動です。子ども議会開催にご協力いただいた伊良皆村長様、池城教育長はじめ各課長様、村議会議員様、議会事務局の皆様、誠にありがとうございます。

## 議員からの感想

# 「島を想う気持ち 伝わってきた」

多良間村議会議員も、子ども議会を傍聴しました。議員お二人から感想を頂きましたので、その内容を紹介します。



多良間村議会  
議長  
福嶺 常夫  
総務建設常任委員

生徒の皆さんは、地域における問題や課題は何であるのかをよく考え、調べあげた質問は自分が住んでいる多良間村を良くしたい、住みよい村づくりに向け多岐にわたる、具体的な質問内容であった。内容によっては今、問題の軽石漂着への対策、防災、特産品開発、環境整備、観光等による村の活性化など島を想う気持ちからの素直な発想・アイデアであり質問であった。皆さんの意見は今後、村政運営に反映されるものと思います。村の将来を担う子ども達であり、心強く感じました。



多良間村議会  
議員  
豊見城 玄弘  
産業経済常任委員長

子ども議員の皆さんの質問は、1年前とは大きく変わり、作文を読む様な形から追求型へと変化していました。教育長からの指摘にもありましたように、下調べをすることによりもっと深く追求し論議となると思われまます。質問の内容は私達議員も質問しているような観点であったり、なるほどと気づかされる部分もありました。一方、子ども議員の皆さんの質問、要望に対して取り組んでないのが分かりました。これから、私達議員がしっかり質問・追求しなければならぬと思える日でありました。子ども議員の皆様ご苦労様でした。

# 中学1年生の感想

2度目の登壇でしたが、やっぱり緊張感がすごく、ものすごく静かな議場に少し緊張していました。自分が質問をするまでのことをほとんど覚えていません。自分の質問の順番が来たと思ったら、もう座っていました。議場上がるというのは、この先、滅多にない経験だと思うので、これからこの経験を活かしていきたいです。

糸洲 朝輝さん

私は子ども議会で思ったことが2つあります。1つ目は、子ども議会の1番だったので落ち着いて、ハキハキと言えたことです。リハーサルでも声が震えていたのに、落ち着いて言えました。2つ目は副議長を後半から務めたことです。練習はリハーサルと個人で1回ぐらいしかできなくて、みんなに聞き取りやすい声でできるか不安だったけど、ちゃんと聞いて良かったです。

清村 仁愛さん

子ども議会に参加して、自分の意見と向きながら言えたのでよかったです。早口になっているところがあったのでそこを直したいと思いました。みんなの意見を聞いたときは早口にならずちゃんと聞いていたからこそ、こまめな練習をしたいと思います。

親里 龍馬さん

私が子ども議会を通して学んだ事は、多良間の空き家はあまり清潔じゃなく、リフォームするのは難しいということと学びました。また、リフォームしても誰が働くのかの課題もたくさんあるという事を学びました。議会を開いてくれた事で、たくさん学んだ事があったので良かったです。

亀山 乙葉さん

私は子ども議会を終えて、最初は緊張しないだろうなと思っていましたが、議場に入った瞬間、みんなずっとこちら側を見ていたので、怖かったです。でも、私達の提案で少しでも考えが変わって、多良間が変わってくれたら嬉しいです。

佐和田 ひまりさん

今回は、貴重な体験をさせてくれて、ありがとうございました。子ども議会を行って、課長さん達が私達議員の質問に本気で答えて下さり、多良間村をよりよい村にしたいという気持ちで、とても伝わってきてうれしかったです。それに、議会の流れや雰囲気、緊張感も味わうことが出来たのでよかったです。

田村 花恵さん



私は、「子ども議会」を経験できてとても良かったです。なぜなら今、多良間がどんな状況なのか、村はどのようなことをしているのか等が分かったからです。実際に質問してみても、課長さん方は、みんなが納得いく返答をしていたり、具体例などを出していたので、とても分かりやすかったです。この経験を活かして、これからは多良間がもっといい村になるようにできることはやっていきます。

野原 隼さん

私が子ども議会に参加して、思ったことは、多良間島にたりない事を議会で提案したり、質問したりして、それを色々な課長さんや村長さんが考えて、答えてくれる事に、「多良間の事をたくさん考えてくれているんだな」と思いました。また、議会がどんな所か、どういふうに質問などを考えるのか知れてよかったです。

高江洲 結愛さん

本番は、ちょっと緊張した。でも、みんなの前でしっかりと覚えて発表できました。そして多良間のことを色々知れてよかったです。

外間 真徳さん

私が子ども議会に参加しての感想は、ちゃんとした議員の席に座って質問したことです。緊張したし何を言えばいいか、忘れそうになっただけで、議長の名前を呼んで課長の皆さんにしっかりと質問できたから、良い体験になったと思います。他にも別の質問の答弁を聞いて、「へえ」や「そうなんだ」と思ったところがたくさんありました。質問したいことをしっかりと、言えたのでちゃんとできたと思います。

知念 夏海さん

僕が子ども議会をやったことが2つあります。1つ目は、ちゃんとかまないで言ったことです。なぜなら僕は、緊張するとすぐにかんだり、文章がとんだりするからです。2つ目は、読むスピードです。理由は、僕は緊張したとき、読むスピードが早くなるからです。

宮國 有璃さん

僕が子ども議会で分かったことは、豆腐作りの体験を何年前かにやられていることが分かった。本番では、緊張したけどかまわずに読めたので良かったです。

山川 将太さん

私は子ども議会を行って、たくさんのお話を学びました。多良間村の課題や魅力をもう1度考え直せたいし、自分がどういふううに多良間を変えたいかなども議会の中で、伝えられたので良かったです。発表するときも大きい声でハキハキとできたので、自分の質問が伝わったと思います。子ども議会を通して、質問を考える、伝わりやすいように発表するなど、たくさん成長ができたと思います。

諸見里 美柚さん

僕が子ども議会に参加した時、静かな雰囲気でも緊張しました。そして、多良間村みんなのために、考えた質問をしっかりと覚えて、質問できるか心配だったけどちゃんと声も大きく丁寧に前を見て、質問できたと思います。私達の質問に真剣に答えてくれた課長の皆さんありがとうございました。

宮國 安璃さん





子ども議会議員

多良間中学校一年生

- 1番 清村仁愛
- 2番 親里龍馬
- 3番 知念夏海
- 4番 佐和田ひまり
- 5番 田村花恵
- 6番 亀山乙葉
- 7番 宮國安璃
- 8番 糸洲朝輝
- 9番 外間真徳
- 10番 宮國有璃
- 11番 高江洲結愛
- 12番 野原雫
- 13番 山川将太
- 14番 諸見里美柚
- 15番 外間直(欠席)

議会事務局

- 局長 亀川竜矢
- 書記 安里 姫花



説明のために出席した職員

- |          |       |
|----------|-------|
| 村長       | 伊良皆光夫 |
| 副村長      | 運天宏和  |
| 教育長      | 池城三千雄 |
| 総務財政課長   | 仲宗根春光 |
| 税務会計課長   | 下地まり  |
| 住民福祉課長   | 佐和田一八 |
| 土木建設課長補佐 | 青柳明彦  |
| 産業経済課長   | 亀川一成  |
| 観光振興課長補佐 | 佐和田健  |
| 教育課長     | 翁長艶子  |
| 空港管理課長   | 山城忠俊  |



多良間村議会議員

- 1番 森山実夫
- 2番 豊見山常和
- 3番 豊見城玄弘
- 4番 垣花幸徳
- 5番 豊見山正
- 7番 福嶺常夫



編集を終えて

子ども議員の皆さんの、質問の内容が色々な体験学習などを通じて得た知識や体験で多良間の現状と課題に照らし合わせ、質問する姿は緊張感の中でも堂々としていました。多良間の魅力をより良くしていきたいという思いは、すごく伝わりました。子ども議員の皆さんもこの場で質問をし、各課長に答弁をもらうことでのいい経験になり、自分のステップアップになったのではないかと思います。村民の皆様も子ども達の真剣な質問の場の子ども議会だよりを読んでどうでしたか？

議会広報副委員長 垣花幸徳